



2022-23年度RIテーマ  
イマジン・ロータリー

国際ロータリー 第2780地区

## 寒川ロータリークラブ



事務所: 〒253-0106 神奈川県高座郡寒川町宮山7番地 サンワビル2F

TEL 0467(73)0046 FAX 0467(74)0027

例会場: 寒川神社参集殿 例会日: 月曜日 18:30

会長 石腰 亮 幹事 小澤千明

会報委員(クラブ管理運営委員会)

島村盛晶 山本和好 石丸博久 大澤 剛 小澤千明

菊地良夫 鈴木郁男 茂内 勝 二見 茂

### 第2225回例会 2022年10月3日(月) 曇り時々晴れ

司 会 山本和好副幹事

黙 唱 国歌「君が代」、寒川ロータリークラブ賛歌「陽光と夢を」

ソングリーダー 島村クラブ管理運営委員長

ゲスト 第4グループガバナー補佐 當間安弘様(茅ヶ崎中央 RC)、  
ガバナー補佐幹事 小林拓也様(茅ヶ崎中央 RC)

メイクアップ 【本日分】井上稔会員(地区米山奨学委員会)、若菜会員(理事会)  
【9/12分】鈴木正秋(茅ヶ崎湘南)、石丸会員(新会員の集い)

#### 会長の時間 石腰会長

皆さん、こんばんは。ここ数日、ほんとうに気持ちの良い日が続き、絶好の稲刈りのシーズンを迎えています。先ずは、當間ガバナー補佐、小林ガバナー補佐幹事、本日はようこそお越し下さいました。今日の例会は當間ガバナー補佐にガバナー公式訪問前の補佐訪問をしていただく例会です。さて、10月に入り今月のロータリーは米山月間・経済と地域社会の発展月間です。ロータリー学友とロータリーとのつながりと理解を深める月間、そして経済と地域社会の発展を考える月間です。では、まず報告ですが、9月30日には第2780地区第4グループの新会員インタビューに当クラブより茂内会員が参加され、ロータリアンになったの誇りと期待を発表して下さいました。第4グループからは茅ヶ崎中央RCの奥本様、綾瀬春日RCより塚原様と高村様、計4名が参加されておりました。インタビューの方から今日の新会員の方々は皆さん色黒ですねと言われていたのが注目でした。中でも茂内会員は断トツに見えました。茂内会員はその日ゴルフをされた帰りだったのでしょうか。余計な一言ですね。すみません。改めてお忙しい中を参加いただきありがとうございました。さて先週もお話ししましたが、会長ノミニー選出指名委員会の日程が決まりました。委員会は今月28日、金曜日の夕方、中村会員を座長に町内で開催致します。尚、委員は現会長と会長経験者の内、さかのぼること6名の方々です。お名前は、井上稔会員、井上晋一会員、青木会員、三澤会員、金子

金子会員、中村会員です。皆様宜しくお願い致します。因みに会長エレクトは村松一会員です。次年度のガバナーは相模原西RCの田島敏久会員です。第4グループガバナー補佐については茅ヶ崎湘南RC伊澤敏典会員と決定しております。今日の後半の例会を担当いただきます當間ガバナー補佐は茅ヶ崎中央RC所属で1962年12月のお生まれです。ガバナー訪問2週間前のガバナー補佐訪問のためにお越しく下さりありがとうございます。ガバナー訪問の目標と効果が高まるよう、当日佐藤ガバナーとの絆が一層深まりますよう、短い時間で恐縮ですがいろいろな事を伝えていただけたらと思います。どうぞ後半、宜しくお願い申し上げます。最後に、10月17日のガバナー訪問例会には、お差し繰りいただき、大勢の皆さんに出席していただきますようお願い致します。

#### 誕生祝: 10月生まれ



椎野会員、  
内野会員

#### 出席報告

会員数	出席計算会員数	出席会員数	暫定出席率	確定出席率
33名	32名	30名	93.75%	第2222回93.75%
本日欠席者	清水会員、下里会員			

## 幹事報告 小澤幹事

### 例会変更

綾瀬 RC

### 週報受理

台北士林 RC

### その他受理

#### ●ガバナー事務所

～米山学友主催「米山クリーンキャンペーン」延期開催

案内 {11/5(土)9:00～ 於:平塚須賀港}

～ロータリーの友事務所勤務体制について {時差出勤  
と在宅勤務併用の継続}

～10月のロータリーレート {1ドル=145円} (9月:  
139円)

#### ●米山記念奨学会

～2022-23 豆辞典 (全会員分)、2021 年度事業報告書  
(回覧)

#### ●寒川神社

～第55回菊花展・写真展協賛依頼(奉仕プロジェクト  
委員会年間予算通り 5,000円ずつ協賛)

### 回覧

ORI 日本事務局財団室 NEWS 2022 年 10 月号

## 委員会報告・地区および地域出向者報告

創立 50 周年実行委員会記念事業部会 金子部会長

先日、菊地実行委員長・椎谷さん・私で町役場都市計画課へロータリーの泉改修工事の打ち合わせに行ってきました。自費工事申請書を提出し、木村町長までの許可をいただいたことをご報告いたします。また、10/25(火)から約1か月間の工事期間と責任者を記した注意書を泉の周りの木に括りつけてきました。25日9時から半日の予定で泉の周りに防護柵の設置を行う予定ですので、ご都合のつく方は是非お集まりいただきますようよろしくお願いいたします。案内は後日流します。

## 同好会報告

なし

## 2225回スマイルボックス 二見クラブ管理運営委員

合計37,000円

◎第4グループガバナー補佐 當間安弘様(茅ヶ崎中央 RC)

10月17日のガバナー公式訪問に先立ってのガバナー補佐訪問です。RI会長の紹介とテーマの説明、ガバナーの紹介と指針の説明を、つたない話になると思いますがさせていただきます。ガバナー公式訪問時の質問事項をいただければ、しっかりお伝えし、実りあるガバナー公式訪問にさせていただきたいと思えます。また、6RC親睦ゴルフコンペの企画、ありがとうございます。そして、来年3月5日開催予定のIMもこの地で開催させていただきます。寒川RC様の様々なご支援に感謝いたします。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

◎ガバナー補佐幹事 小林拓也様(茅ヶ崎中央 RC)

石腰会長、小澤幹事を始めとする寒川RC様のすべて

の事業の盛会をご祈念申し上げます。本日もどうぞよろしくお願いいたします。

◎石腰会長・小澤幹事

當間AG、小林AG幹事、本日はどうぞよろしくお願いいたします。

◎内野会員

誕生祝、ありがとうございます。今、少し運動不足ですので、ゴルフの機会を多く作りたと思います。皆様、よろしくお願いいたします。

◎椎野会員

66歳誕生日、ありがとうございます。

◎井上晋一会員

當間ガバナー補佐、小林ガバナー補佐幹事、本日はありがとうございます。そして、よろしくお願いいたします。

◎椎谷会員

1)ガバナー補佐の當間さん、ご苦労様です。本日はよろしくお願いいたします。

2)ゴルフ同好会、10/6と10/14登録された方々、よろしくお願いいたします。

◎青木、秋本、石塚、石丸、磯川、大澤、金子、菊地、茂内、島村、鈴木(郁)、鈴木(正)、高波、中野、中村、二見、眞原、三澤、三留、村松、山本(和)、山本(哲)、各会員

ガバナー公式訪問前ガバナー補佐訪問

「當間安弘ガバナー補佐をお迎えして」

第4グループガバナー補佐 當間安弘様(茅ヶ崎中央 RC)

みなさま、こんにちは。ガバナー公式訪問に先立ってのガバナー補佐訪問です。では早速、2022-2023 ジェニファー E. ジョーンズ RI 会長についてご紹介いたします。所属クラブはカナダ・オンタリオ州のウィンザー・ローズランド RC。メディアストリートプロダクションという会社の創業者兼社長です。前職はラジオ局に勤務していました。1995年、27歳でメディアストリートプロダクション創業。映像制作会社で、企業コマーシャルや会社紹介ビデオ等の映像を制作。117年間で初の女性会長ですが、ご本人は「初の女性会長」と呼ばれることを好んでいないそうです。ジョーンズ会長はその他にも、ウィンザー大学の理事長、ウィンザー・エセックス地域商工会議所の会頭を務められています。97年にウィンザー・ローズランド RC 入会、現在 55 歳です。ロータリーメンバーで年齢を公表される方は珍しいと思いました。ジョーンズ会長についての詳細は、ロータリーの友 7 月号に生い立ちや RI 会長までの経緯などが掲載されていますので一読ください。実は、ウィンザー市と藤沢市は姉妹都市で、ジョーンズ会長は何度か藤沢に来られているそうです。今年 6 月に開催されたヒューストンでの国際大会日本人朝食会の時、ジョーンズ会長が私たちのテーブルに来られ、かながわ湘南 RC 下里由香さんとの交流についてお話しされました。同じ地区のクラブとして誇らしく感じました。さて、今年度の RI 会長テーマは、「イマジジンロータリー」です。イマジジンとは「想像する」という意味です。「私たちには皆、夢があります。しかしその実現のために行動するかどうかを決め

るのは私たちです。想像してください。私たちがベストを尽くせる世界を。私たちは毎朝目覚めるとき、その世界に変化をもたらせると知っています。」とジョーンズ会長はおっしゃっていました。イマジンロータリーのロゴには各所に深い意味が込められています。オーストラリアの先住民アボリジニのデザイナーによるデザインで、先住民の文化で「円」は互いにつながっていることを意味しており、7つの点は「人」をあらわすと同時に、ロータリーの7つの重点分野を表しています。丸と点を一緒にすると、航路を示す星、つまり私たちの道標になります。その下の太い線は、いわゆる「掘り出し棒」で、力仕事をするときを使うものです。行動を起こすロータリー会員にとって、物事を成し遂げるための道具を表しています。緑、紫、白の3色は、紫は「ポリオ根絶」、緑は新たに加わった重点分野の「環境」、そして白は私たちの中核的使命である「平和」を表しているそうです。また、この3色を合わせると、女性参政権運動「サフラジェット」の色になります。これは、ジョーンズ会長が初の女性RI会長となることから、さりげなくその歴史に触れているようです。イマジンの歌詞の中に「君は僕を夢想家というかもしれない、でも僕は一人ではないさ…」という一節があります。私たちは一人ではありません。だから想像したことを実現できるのではないのでしょうか?それでは何を想像するのでしょうか?ポリオの無い世界、みんなが安全な水を使える世界、疾病の無い、全ての子供が読むことのできる世界、やさしさ、希望、愛、平和を想像してください。だからこそ「IMAGINE ROTARY」がテーマなのです。ジョーンズ会長の強い思いが込められたテーマだと思っています。また、テーマと合わせて、会長テーマ講演のなかで次のようにもお話をされています。「心地よさと配慮の哲学を、クラブにも浸透させ、クラブとロータリーでの体験に満足してもらえよう、会員が積極的に参加できるようなクラブに」、「みんなが集まりたい場所」、「ワクワクする場所」、「感動を与えてくれる場所」、「なんでもできるように感じる場所」でありたいとお話をされています。まさにそういったロータリーになったときに想像したことが実現できるのではないのでしょうか?その時大事なことは、DEIを浸透させることにより、「ロータリーの成長を加速させる」。その時の道標になるのはロータリーの『適応力』そのものである。そして、会員の積極的な参加を促すために、ロータリーには「適応と変革」が必要。そのために、やりがいのある責任をすべての会員に与えることが重要。DEIについて。D:ダイバーシティ。多様性、中核的価値観。年齢、民族、宗教、疾病、性自認、性的指向、教育、国籍等の違いを尊重し、その多様性を受け入れ、認めることです。背景とは無関係に一人一人を尊重し、大切にすることを学んだときのみ、多様性の力を発揮し、その恩恵を得ることができるということです。“他者理解”であり“他者実現”につながるのではないのでしょうか。E:エクイティー。害を持った方、体格の違う大人の男性、女性、子供、それぞれ、同じ自転車を与えることはEquality(平等)。Equity(公平)はその人に合った自転車、つまり、この絵にあるように、その人の障害に合った自転車、体

格に合った自転車を提供することです。例えばリンゴの木があったとして、背の高い人だけがリンゴを摘めるのではない。背の低い人にもリンゴが取れるように同じ条件を与える。もしかすると背の低い人はどのリンゴが美味しいか見極める力を持っているかもしれません。これによって背の低い人にもやりがいのある責任を与えることになるのではないのでしょうか。I:インクルージョン。これは包摂・開放性などと訳されました。あまりなじみのない言葉です。反意語のエクスクルージョンの意味は、排他・除外・排斥、この日本語の意味から推察するとわかりやすいのではないのでしょうか?すべての人に歓迎され尊重され大切にされる経験を想像すること。寛容の精神であると私は理解しました。DEIは、優しさ・信頼・寛容。DEIを最優先して活動していくことが、ロータリーの成長の加速につながる、ということであると考えます。年次目標ですが、ジョーンズ会長の2019年のビジョン声明と優先事項を用いています。年次目標に関してはここで解説するよりもぜひ、ご一読をお願いします。2017年にはロータリアンという単語がありました。今はロータリアンとは言いません、メンバーもしくはファミリーです。2019年規定審議会においてロータアクトが正会員になったためです。続いて、第2780地区のガバナーになられた佐藤祐一郎氏についてご紹介してまいりたいと思います。ゴルフ場経営に携わっておられ、新相模株式会社(相模湖カントリークラブ)趣味は、小学校から大学まで剣道部に所属されていたそうですが、その後、仕事もあって、竹刀をゴルフクラブに持ち替えてゴルフに没頭されていたそうですが、ビリーズブートキャンプを休まず続け3か月目に肘を壊してしまうほどまじめな方。一時期ケガで中断した時期を経て、今は年に数度のラウンドをされているそうです。1993年に津久井中央RCに入会されています。入会の理由は会社と自宅の往復で会う人が限定され、新しい友達が欲しかったからだそうです。ポールハリスが日本来た際に、「なぜ、ロータリーをつくったのですか?」との質問に「寂しかったから」と答えています。佐藤ガバナーも同じです。寂しがりやというわけではありません。人と話をするのが大好きな方です。続いて第2780地区の活動の指針です。活動の指針としては、RI会長テーマの実現に貢献できることが重要と考えています。ガバナーはあえて方針ではなく指針としています。それはクラブが主体だという思いの強さだと感じております。「ひとり一人、あらゆる全ての会員が役割を持ち、楽しんで積極的に参加できるクラブの結集でこそ実現に近づきます。ロータリーはクラブが原点です。そしてひとり一人の会員が大切です。もっと学び、それぞれの能力を活かし、クラブの力を合わせて、イメージした世界の実現を目指しましょう。」というのが佐藤ガバナーによる第2780地区の活動の指針です。その具体的な活動のテーマとして、2つ挙げられており、そのひとつ目が、「取り戻そう」です。「COVID-19による2年間、あるいはロータリーの117年の歴史の中で、会員として、あるいはクラブとして、失ったり、忘れたり、希薄になってしまったものがあるとすれば、変革と共に、もう一度取り戻すべ

きものを確認し、取り戻しましょう！」何を取り戻すのか。まず会員数でしょう。COVID-19が始まった2019-20杉岡年度は101名の純減でした。2020-21久保田年度は27名の純減でした。2021-22田島年度は9名の純減となっています。ですが、実はCOVID-19が始まる前から会員数のマイナスは始まっていました。1992年、今から30年前の会員数は3554名でした。今は2235名。この間、クラブ数はそれほど変わっていません。ですから、30年前は一クラブ50名くらいだったものが今は30名前後になっているという計算になります。親睦活動、家族例会を取り戻してください。奉仕活動も取り戻してください。寒川さんは創立50周年記念事業として始めようとしているところですね。そしてIMも取り戻します。来年3月5日、ここ寒川の地で開催させていただきます。第4グループ6クラブが一堂に会し、胸襟を開いて話し合ってください。旧交を温めたり新しい会員さんは名刺交換をして友達の輪を広げたり、そんなIMを作っていきたいと思っています。ぜひ多くの方の参加をお願いいたします。佐藤ガバナーはもう一つ「誇りを取り戻そう」とおっしゃっています。これについては佐藤ガバナーお話し醍醐味になるのかなと思います。公式訪問でタプリーお聞きください。テーマの2つ目は、「記憶に残る年にしよう!」。「ロータリーの基本は、クラブ・会員ひとり一人です。クラブで考え、今まで成し遂げていないようなことに向けて行動し、新しい歴史を作り、クラブにとって印象的で記憶に残る年度にしましょう。クラブで考え、今までにない記憶に残る成果をあげましょう。」というものです。記憶に残すのは「佐藤ガバナー年度の年だった」ということではありません。同様に「石腰会長の年度だった」ということでもないと思います。すべての会員がこの年を思い起こすような活動をされること。それが「記憶に残る年にしよう」ということだと私たちガバナー補佐は理解しています。親睦活動、会員増強、規定審議会への提案、戦略計画や長期計画の策定、策定することも大切ですがその過程における討論・議論がもっと大切です。様々な方の意見を聴き意見を交換するチャンスがあるからです。公共イメージの向上、ロータリー賞の獲得、ロータリーらしい例会、これらを取り戻そうではありませんか。そのためには「みんなが集まりたい、ワクワクする、感動を与えてくれる、何でも出来るように感じる場所」にロータリーを作っていっていただきたいと佐藤ガバナーは強くおっしゃっています。以上、RI会長の紹介とテーマの説明、ガバナーの紹介と指針の説明をさせていただきました。ご清聴ありがとうございました。

### ガバナーへの質問事項

○本年度は寒川RCで会計と長期ビジョン委員会の委員長を担当しておりますが、地区のビジョンとしても「私たちは、地域社会の変化とニーズを捉え、地域社会にインパクトをもたらす、多様な人々との出会いとつながりを活かして、良い奉仕を実践するために積極的に行動します」ということで、地区のビジョンが掲げられています。それも踏まえて、寒川RCも様々な奉仕活動

をしていく中で、ロータリー財団の地区補助金を活用ができたかと何度か相談をさせて頂きましたが、申請上の運用ルールがあるとは思いますが、もう少し寄り添ってお話ができること、また使いやすい仕組みを検討していただけたらと思います。(物品贈呈の事業を申請したところ、申請書を見るだけで却下されました、できれば、どのように申請すれば、どのような内容で申請すればよいかのアドバイスをいただきたいかった)

○米山の奨学生は受け入れやすいのですが、青少年交換留学生の受け入れに関して、問題点が多いです。地区では今後、青少年交換留学生の受け入れについて方針を変えるお考えはないでしょうか？

○ロータリーに入会して間もない中ですが、身近な方でロータリーに入会できそうな方にお声がけをしております。会員増強をしていく中でどういった勧誘の仕方が効果的でしょうか？また、数多くの病気がある中で、ロータリーがなぜ、ポリオの根絶を選んだのか、その理由を教えてください。

○去年は地区の職業奉仕委員に出向しております。ロータリーが長く続けてこられているポリオ根絶ですが、私自身は1970年以降の生まれでして、あまり身近にポリオを感じたことがありません。全世界での取り組みとして長くロータリーで活動しておりますが、公共イメージとして取り組みを発信した時に、どれくらいの方に浸透しているのでしょうか？素晴らしい大きな活動しておりますが、遠い課題となっている気がしております。例えば身近な2780地区としてのシンボルになるような全体で取り組む奉仕活動を発信していく方が地域の方に浸透し、多くの方に連鎖していくのではないのでしょうか。SNSを見ていてもロータリアン向けの発信になっていて、地域の皆さんにロータリーを知ってもらうという発信が弱いのかなと感じましたのでご検討をお願いします。

質問ありがとうございました。他にも質問がある方は幹事経由でお送りください。どうぞよろしくお願いたします。



9月27日(火)新会員の集いに、茂内会員、石丸会員、眞原会員が参加されました

